

# ◎ 大学院医学系研究科博士課程の改組について

大学院医学系研究科博士課程では、平成24年度に従来の3専攻（医学系専攻、臓器移植細胞工学医科学系専攻、加齢適応医科学系専攻）から下記の通り2専攻（医学系専攻、疾患予防医科学系専攻）への改組を行います。

## 現行の研究組織

医学系専攻 領域	分野
生体制御  (循環、呼吸、免疫、消化、生殖機能を中心とした研究領域)	病理組織学
	器官制御生理学
	統合生理学
	分子薬理学
	免疫・微生物学
	分子細胞生化学
	呼吸器・感染症内科学
	消化器内科学
	腎臓内科学
	リウマチ・膠原病内科学
	呼吸器外科学
	消化器外科学
	心臓血管外科学
	乳腺内分泌外科学
	産科婦人科学
麻酔蘇生学	
救急集中治療医学	
臨床薬理学	
腫瘍  (悪性新生物を中心とした研究領域)	病理組織学
	器官制御生理学
	免疫・微生物学
	分子細胞生化学
	呼吸器内科学
	血液内科学
	小児医学
	皮膚科学
	画像医学
	消化器外科学
	呼吸器外科学
	脳神経外科学
	泌尿器科学
	乳腺内分泌外科学
	産科婦人科学
	組織発生学
	心臓血管外科学
	移植外科学
泌尿器科学	
運動機能学	
形成再建外科学	
歯科口腔外科学	
脳・感覚機能  (中枢神経系や感覚器を中心とした研究領域)	人体構造学
	脳神経内科学
	精神医学
	運動機能学
	形成再建外科学
	脳神経外科学
	眼科学
	耳鼻咽喉科学
神経難病学 (寄附講座)	
健康・社会医学  (個体レベルの健康障害や社会と医療の関わりを中心とした研究領域)	法医学
	遺伝医学・予防医学
	衛生学公衆衛生学
	小児医学
	画像医学
	病態解析診断学
	医療情報学
	医学教育学 (寄附講座)

臓器移植細胞工学医科学系専攻 (独立専攻)	分野
移植免疫感染症学	感染防御学 免疫制御学
臓器発生制御医学	循環器病態学 発生再生医学 分子病理学

加齢適応医科学系専攻 (独立専攻)	部門	分野
分子細胞学		加齢生物学
		神経可塑性学
		分子腫瘍学
個体機能学		加齢病態制御学
		代謝制御学
		スポーツ医科学
健康促進学 (協力・連携部門)		健康教育心理学
		老化制御学

## 再編後の研究組織

医学系専攻 領域	分野
生体制御  (循環、呼吸、免疫、消化、生殖機能を中心とした研究領域)	病理組織学
	器官制御生理学
	統合生理学
	分子薬理学
	免疫・微生物学
	分子細胞生化学
	<b>感染防御学</b>
	<b>免疫制御学</b>
	呼吸器・感染症内科学
	<b>循環器内科学</b> (現行の「循環器病態学」を改称)
	消化器内科学
	腎臓内科学
	リウマチ・膠原病内科学
	<b>糖尿病・内分泌代謝内科学</b> (現行の「加齢病態制御学」を改称)
	呼吸器外科学
	消化器外科学
	心臓血管外科学
	乳腺内分泌外科学
産科婦人科学	
麻酔蘇生学	
救急集中治療医学	
臨床薬理学	
腫瘍  (悪性新生物を中心とした研究領域)	病理組織学
	器官制御生理学
	免疫・微生物学
	分子細胞生化学
	呼吸器内科学
	血液内科学
	小児医学
	皮膚科学
	画像医学
	消化器外科学
	呼吸器外科学
	脳神経外科学
	泌尿器科学
	乳腺内分泌外科学
	産科婦人科学
	組織発生学
	心臓血管外科学
	移植外科学
泌尿器科学	
運動機能学	
形成再建外科学	
歯科口腔外科学	
脳・感覚機能  (中枢神経系や感覚器を中心とした研究領域)	人体構造学
	脳神経内科学
	精神医学
	運動機能学
	形成再建外科学
	脳神経外科学
	眼科学
	耳鼻咽喉科学
神経難病学 (寄附講座)	
健康・社会医学  (個体レベルの健康障害や社会と医療の関わりを中心とした研究領域)	法医学
	遺伝医学・予防医学
	衛生学公衆衛生学
	小児医学
	画像医学
	病態解析診断学
	医療情報学
	医学教育学 (寄附講座)

疾患予防医科学系専攻 (独立専攻)	部門	分野
分子細胞制御学 (現行の「分子細胞学」を改称)		加齢生物学
		神経可塑性学
		分子腫瘍学
個体機能制御学 (現行の「個体機能学」を改称)		<b>分子病理学</b>
		代謝制御学
		<b>循環器病態学</b> (現行の「発生再生医学」を改称)
健康促進学 (協力・連携部門)		スポーツ医科学
		健康教育心理学
		老化制御学

